

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市郡山デイサービスセンター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成29年度 5,988人 (前年度比 98.7%) 平成28年度 6,066人 (前年度比 115.3%) 平成27年度 5,262人 (前年度比 98.3%)</p> <p>《事業》</p> <p>お花見会、夏祭り、敬老会、紅葉ドライブ、シャンソンコンサート、年末お楽しみ会、節分、ひな祭り、誕生会などの行事の実施、ミニクリスマスツリーの作成、壁掛け・壁絵・貼り絵の創作活動等趣旨機能運動に繋がる教室の実施</p>
5	収支の状況	<p>()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない。 その他市が負担した費用 1,717千円 (362千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険収入 58,818千円 (54,183千円) その他収入 159千円 (68千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>仙台市利用者アンケートの他、センター独自のサービス全般に関する利用者・家族アンケートを実施した。また、利用者交流会を開催している。そのほか市社協が行う、第三者である介護相談員を派遣する事業を活用して、直接職員に伝えられないような要望も把握するよう取り組んでいる。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。</p> <p>また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p>	S
II 施設の運営管理体制	<p>必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。</p> <p>また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えて、連絡体制や職員の役割分担を予め決めておけるなど、対応体制を構築している。</p>	S
III 施設・設備の維持管理	<p>利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。</p> <p>また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。</p>	S
IV サービスの質の向上	<p>利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。</p> <p>また、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回は行うなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。</p>	S
V 施設固有の基準	<p>介護技術向上のための定期的な研修実施や、職員間での情報交換など、サービスの質を向上させる取組を行っている。</p> <p>また、関係機関と定期的な会議を開催することにより、日常的な連携体制を構築し、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。</p>	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>介護保険法に規定する在宅要介護高齢者等の方々への通所によるサービス提供により、高齢者福祉の向上を図るとともに、利用者が住み慣れた地域で安心安全に暮らせるように支援に努めた。</p> <p>○利用者の声を反映した、利用者に信頼され満足いただける質の高いサービスの提供に努めた。</p> <p>○家族交流会や利用者アンケートを通じて利用者のニーズ把握を行い、そのニーズを基に利用者一人ひとりの個性や能力に合わせたプログラムを作成するなど、質の高いサービスの提供に努めた。</p> <p>○快適で安全な施設環境づくりとリスクマネジメントの推進に努めた。</p> <p>○地域福祉の推進の一端を担う目的で、地域に開かれた事業所を目指し、併設する施設と共に地域の様々な団体や施設等との連携を取ることに努めた。</p> <p>○ボランティアの積極的な受入れに努めるとともに、区ボランティアセンター等と連携しボランティア講座を開催し、シニアボランティアの育成に取り組んだ。</p> <p>○福祉避難所の開設準備及び設置訓練の実施に努めた。</p> <p>○利用者増による適正な収益確保に努めた。</p> <p>○利用者ごとの介護方法についてミーティング等で共有するとともに、外部研修等に参加して組織全体で介護力の強化に努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>利用者アンケートの結果を重視し、得られた意見に基づいて行事を実施するなど、利用者本位のサービス提供に取り組んでいる。</p> <p>職員の研修も積極的に実施し、また伝達研修を実施することで、内容を共有するなど職員の資質向上にも努めている。</p> <p>また、併設する老人福祉センターのボランティア受け入れによりシニアボランティアの活動機会を設けるなど関係機関と相互に協力しており、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課